



所信声明  
**完全母乳育児と HIV 感染**  
Exclusive Breastfeeding and HIV Infection

### 背景

HIV 陽性の女性から生まれた乳児は、完全母乳育児または完全人工乳育児のいずれかにすべきであると研究結果から示唆されている。母乳育児を選ぶ場合、ウイルスの母子感染のリスクを減らすために少なくとも 6 カ月は継続すべきである。母乳育児は、貧困により安全な人工乳のための清浄な水と燃料が不十分である状況では、特に重要である。政策、勧告、支援やエビデンスにもとづく情報の提供が、地域や国によって異なっているのは明らかである。

### 見解

ICM は、以下の立場をとる。

- 母親が HIV 陽性であれば、完全母乳育児または完全人工乳育児が必要であることを認める。
- 特定の状況では、安全な母乳育児または人工乳育児が難しいことを認める。これは個々の環境、母親のウイルス量、抗レトロウイルス薬が手に入るかどうかによって左右される。人工乳育児を選ぶ場合、清潔な水と燃料が利用できることが重要である。
- HIV 陽性の育児期の女性は、十分な情報提供を受けた上での選択ができるよう、乳児の育児の選択肢について情報を得る権利を有することを確約する。女性はまた、選択した育児方法を遂行するための支援を受ける権利も有する。
- 助産師、政策立案者、その他の安全な育児方法の遂行において女性を支援する中心的な専門家に研究・経験の照合と普及を推進する。

### 会員協会への指針

会員協会には、以下を求める。

- 会員協会は、政策や情報提供を主導的に行った経験や、HIV 陽性の女性が適切な授乳方法を決定・実行することの支援、特に人工乳の安全性が確保されない状況で 6 カ月以上の完全母乳育児を達成するための支援について、他の協会と共有する。
- 完全母乳育児および抗レトロウイルス薬を服薬している間の母乳育児など、HIV と授乳方法に関する適切な研究を奨励および貢献する。
- 共有された見聞のデータベースの構築もしくは出版物を発行する。

## 関連 ICM 文書

ICM. 2014 所信表明 HIV とエイズ

## その他の関連文書

- Chasela et al. 2010. Maternal or Infant Antiretroviral Drugs to Reduce HIV-1 Transmission. The New England Journal of Medicine 362:2271-2281.
- Coovadia et al. 2007. Mother-to-child transmission of HIV-1 infection during exclusive breastfeeding in the first 6 months of life: an intervention cohort study The Lancet. Volume 369, Issue 9567, 31 March–6 April 2007, Pages 1107–1116
- Coutsoudis A et al. Method of feeding and transmission of HIV-1 from mothers to children by 15 months of age: prospective cohort study from Durban, South Africa. AIDS 2001; 15(3), 379-387.
- IATT, WHO, UNICEF. 2013. Toolkit, Expanding and Simplifying Treatment for Pregnant Women Living with HIV: Managing the Transition to Option B/B+. The Intraagency Task Team.
- Lazarus r. et al. 2013. Promoting safe infant feeding practices – the importance of structural, social and contextual factors in Southern Africa. Journal of the International AIDS Society. Vol. 16:18037
- WHO. Young Infant and Child Nutrition. Resolution 54/7 by the World Health Assembly, Geneva, 2001
- WHO. 2010. Guidelines on HIV and infant feeding 2010. Principles and recommendations for infant feeding in the context of HIV and a summary of evidence. WHO, UNAIDS,
- WHO. 2012. Use of antiretroviral drugs for treating pregnant women and preventing HIV infection in infants. Programmatic update. WHO, Geneva.
- Zetterstrom R. 2000. Transmission of human immune deficiency virus type-1 from mother to infant. Acta Paediatrica; 89(11): 1273-1274.

## 2008 年、グラスゴーでの国際評議会にて採択

2014 年、プラハ国際評議会にて見直し・採択

次回の見直し予定：2020 年

2016 年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。